

「街フォトスクラップ」

みんなのイマをパシャ!!



8月11日・12日の2日間、「かのや夏祭り」が行われました。11日の本祭では、八坂神社での出御祭しゅつごさいに続いて、プロ自転車チーム「CIEL BLEU鹿屋激走」が行われ、自転車競技選手が市街地を全力疾走する姿に、観客は驚きの顔で見入っていました。そして、音楽隊のパレードや神輿、稚児行列などが市街地を華やかに彩りました。本祭が最高潮になる

総踊りには、市内外から総勢25連・約2,200人が参加し、延べ約42,000人の来場者とともに、鹿屋の街を熱くしました。12日に古江港で行われた納涼花火大会には延べ約37,000人が来場。レーザー光線・音楽・花火のコラボレーションや大隅半島最大の2尺玉など、約8,000発の花火で美しく彩られた鹿屋の夏の夜空に魅了されていました。



8月20日、市鉄道記念館で「鹿屋駅スケッチ大会」が開催されました。これは、30年前に廃線になった旧国鉄大隅線の歴史に触れてもらうために行われたもの。この日は9組24人の親子が参加し、絵の基本的な描き方や大隅線の歴史などを学びながら、在りし日の大隅線の勇姿をキャンパスの中に、思い思いに再現させていました。

8月12日と19日、市内の戦跡をめぐる「親子戦跡めぐりバスツアー」が行われました。高須町方面と串良町方面を巡り、2日間に分けて行われたこのバスツアーには延べ25組56人が参加。参加者は平和学習ガイドの説明に耳を傾けながら、戦争の悲惨さと平和の尊さについて学び、「平和のありがたみに気づかされた」と話していました。

夏の鹿屋の一大イベント「かのや夏祭り」



8月11日、リナシティかのやで「リナシティまると博物館」が開催されました。これは、鹿屋の文化や文化財などの理解を深めるために今年初めて実施したものです。会場全体を博物館に見立て、郷土芸能の公演や県内唯一の出土品である象嵌装大甕に関するトークショーなどを行い、約1,500人の来場者は、鹿屋の文化を体験しながら、1日限りの博物館を楽しんでいました。



8月11日、リナシティかのやで「かのやばら大使」の委嘱状交付式が行われました。新たに「かのやばら大使」に就任したのは、プロ囲碁棋士の中小野田智己さん。西原出身の中小野田さんは日本棋院に所属し、最高位の九段にして通算600勝達成の実力者。また同日の「リナシティまると博物館」では、中小野田さんの指導碁・囲碁教室が行われました。

リナシティが博物館に

新 たにかのやばら大使を委嘱



8月20日、吾平町商店街で「美里あいら夏祭り」が開催されました。祭りの前半では、恒例のお神輿行列がにぎやかに商店街を練り歩き、観客は打ち水などで盛り上げていました。また、月見橋上流では約3,000発の花火が打ち上げられ、観客は、川面を彩る花火の美しさに歓声を上げながら、少し遅めの、吾平の夏の風物詩を楽しんでいました。

吾平の夏の風物詩「美里あいら夏祭り」



8月19日、小塚公園で、茶道・裏千家の前家元、千玄室さんによる「鹿屋平和祈念献茶式」が行われました。元特攻隊員だった千さんは、平和祈念の献茶を各地で実施。この日は、特攻隊員として鹿屋から飛び立った亡き戦友の遺品である茶碗を使ってたてた茶に平和の願いをこめて、戦友を含む908柱の英霊に一碗を捧げました。

平和を祈り英霊に捧げる一碗



8月18日、リナシティかのやで「かのや未来創造プログラム～平和の花束2017～」が開催されました。これは、世界平和を願う児童・生徒の平和へのメッセージを発信し、平和や人権について考えるイベント。当日は最優秀賞受賞者3人による作文朗読や、千玄室さんによる平和への思いに関する講演が行われ、参加者は恒久平和への思いを新たにしました。

平和へのメッセージを発信